

2021 年 8 月 11 日

2021 年 7 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は封筒関連や金融関連、学参関連が動き前年を僅かに上回った。しかし、前々年比でみると 80%であり、厳しい状況と思われる。

巻取は生損保関連や携帯電話関連、ドラッグストアクーポン券等が動き前年並みであった。しかし、オリンピックの影響で動きは弱く、前々年比でみると 64.6%でありかなり厳しい状況である。

（前年比 平判 100.8% 巻取 99.9%）

再生紙平判は国保関連、年金関連が動いたものの、前年を大幅に下回った。

巻取はハザードマップや中小企業向け冊子等が動いたが、前年を若干下回った。前々年比では 53.9%であり、再生紙もかなり厳しい状況には変わりはない。

（前年比 再生上質平判 66.1% 再生上質巻取 95.0% 再生上質計 75.2%）

（前年比 印刷用紙 A 100.6%）

<A2 コート>

緊急事態宣言下ではあるが、生損保、製薬、大学関連のカatalog、パンフ、チラシや、定期出版物で動きがあり、巻取は前年を上回った。

一方で、緊急事態宣言中の自粛要請による各種イベントの中止、延期で業界の印刷物案件全般の需要は減少した。

（前年比 平判 96.9% 巻取 114.5% 全体 100.2%）

<A3 コート>

生損保及び学習塾、食品スーパー、ドラッグストア等の定期的なチラシ案件で動きがあり前年を上回った。

（前年比 平判 81.4% 巻取 128.2% 全体 108.9%）

<ノーカーボン紙>

平判は自治体毎で細く支援金の動きも見られたが、金融、生損保、帳票関連と一般の動きが弱く前年を下回った。

巻取は官庁関連、納付書の動きも見られ、コロナワクチン接種の需要もあり前年を上回った。

（前年比 平判 86.8% 巻取 101.8%）

<上質フォーム>

昨年のプレミアム商品券、トラベル関連に対する落ち込みもあり若干の動きは見られたが、生損保、官庁関連の動きも弱く前年を下回った。

（前年比 93.3%）

<包装用紙>

特殊両更は政府、自治体関連の封筒が依然好調で、前年を上回った。

（前年比 112.5%）

軽包装は印刷物関連に回復傾向が見られ、それに付随して製本会社向けの雑包装用途に動きが見られ前年を大きく上回った。

（前年比 108.6%）

片艶晒は百貨店、ショッピングモール向けの手提げ袋に回復が見られず前年を若干下回った。

（前年比 97.4%）

両更晒は生命保険会社向け、電信電話会社向けの封筒に回復傾向が見られ前年を大きく上回った。

（前年比 127.1%）

色クラフトは一般企業向け、生命保険会社向け封筒に一部回復傾向が見られ前年とほぼ同等の動きとなった。

（前年比 101.3%）

純白ロールは贈答用や巣ごもり需要のネット販売向けの包装関連に動きもあり前年を若干上回った。

（前年比 104.9%）

包装紙全体でも 108.7%と前年を上回った。

<板紙>

コートボール、菓子関連は引き続き堅調なものの、緊急事態宣言が影響し土産関連は低調。

高板は出版、トレーディングカード類は好調も、商印、POP は低調であった。

チップボール、出版は依然好調なものの、パッケージ、包装材関連は需要が回復せず低調であった。

全体的には前年を上回った。

（前年比 103.8%）